

研究課題番号	2-2008
研究課題名	暗示的炭素価格を踏まえたカーボンプライシングの制度設計：効率性と地域経済間の公平性を目指して
研究実施期間	令和2年度～令和4年度
研究機関名	早稲田大学
研究代表者名	有村 俊秀

## 1. 委員の指摘及び提言概要

時宜にかなった研究であり、概ね計画通り進捗し成果をあげていると評価できる。気候変動対策としてカーボンプライシング（CP）は有力な対策手法であり、現実の社会経済活動に関わる環境政策立案に資するような制度設計につながる研究成果を期待する。CP 制度導入普及のための地域事業者や産業界の合意形成の構築についての検討、地方自治体にとって重要な課題である地域特性との関係についての分析を進めて頂きたい。また、CP について、分かりやすいように整理してまとめ、国民に説明できる形で積極的に発信して欲しい。新興国への CP の適用提案については、新興国と日本の特徴を踏まえ、日本での手法がどのように適用できるのかの検討等を今後に期待する。

## 2. 採点結果

評価ランク：A